

朝鮮人「慰安婦」の声を聞く

韓国・ハルモニたちの司法闘争

会期：2025年6月20日（金）～12月22日（月）

2019年3月1日から1年半、wamでは第16回特別展として「朝鮮人『慰安婦』の声をきく」展を開催しました。この特別展では、自分の被害を誰かに語った女性たちの声を、国内外の様々な資料から伝え、大きな反響がありました。

その頃、「本当に日韓条約で解決済みなの？」というハルモニたちの素朴な声から始まった韓国での司法闘争は、日本政府による妨害を乗り越えて進んでいました。日韓条約関連文書の韓国での全面公開は、日本政府保有の関連文書の公開をも促し、2021年以降、日本軍「慰安婦」に対する日本の賠償責任を認める3件の判決が、韓国の裁判所で下されました。

日韓国交正常化から60年の今年、この企画展では被害を語った南北朝鮮195人の朝鮮人「慰安婦」の声を改めて展示するとともに、1991年に始まった韓国のハルモニたちの司法闘争を振り返ります。植民地主義の責任を問い、人権を守る方向に韓国司法は大きく変化しました。いま、問われているのは日本です。



展示室の壁に並ぶ公開証言をした朝鮮人「慰安婦」被害者の「声」。一人ひとりの生い立ち、「慰安婦」にされたきっかけ、被害、戦後、そして伝えたいメッセージが並ぶ。



韓国の金学順さんたちが1991年12月、東京地裁に提訴したことから始まった「慰安婦」裁判。日本の裁判所ではすべて最高裁で棄却されたが、韓国の女性たちは、韓国の裁判所で司法闘争を継続した。司法に正義を求めたハルモニたちの歩みをたどる。

主な展示内容

- 証言をした朝鮮人「慰安婦」、195人の声
- 朝鮮民主主義人民共和国および大韓民国の政府に登録された「慰安婦」被害者の連行地・連行先地図
- 韓国・ハルモニたちの司法闘争1991-2025

日本軍「慰安婦」、基本のキ

「日本軍『慰安婦』制度って、本当はどんなものだったの？」

日本軍から性暴力を受けた女性たちの証言からは、「慰安婦」という婉曲的な表現からは想像できない日本軍性奴隷制の実態が伝わってきます。

wam の常設展示では、「慰安婦」として被害を受けた各国・地域の女性たちの証言、日本軍の慰安所設置の経緯、元日本兵の証言、アジア太平洋地域に広がった慰安所の地図などから、日本軍「慰安婦」制度の全体像を伝えます。



各国・地域で最初に「慰安婦」とされた被害を語った女性たちの証言。一人ひとりの証言を読むと、多様な被害実態が見えてくる。



中学校の教科書の「慰安婦」記述の変遷。1997年に発行された歴史の教科書すべてが「慰安婦」に言及していたが、徐々に記述する教科書が減っていった。

主な展示内容

日本軍「慰安婦」制度とは

誰がどのような目的で作ったのか
「慰安婦」はどのように集められたのか
慰安所は誰がどのように管理したのか
戦後、「慰安婦」制度は裁かれたのか

日本軍慰安所マップ

被害女性の証言
元日本軍兵士の証言
中学校 教科書の「慰安婦」記述
女性国際連帯法廷と裁かれた責任者たち

会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円 ●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次おしらせします。
維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「女たちの戦争と平和人権基金」係

wam

アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館
women's active museum on war and peace

開館時間：金・土・日・月 13:00~18:00
2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため開館

休館日：火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料：18歳以上 500円
18歳未満 300円
小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org
URL: https://wam-peace.org Twitter: @wam_peace

